

老と死/斗争と和解IX「老いの幸福論」

理事長 柿澤善樹



『幸福論』と聞くとアラン著作の『幸福論』が有名である。高校生時代など思春期に読んだことがある方も多いであろう。私も読んだ記憶はあるが内容を全く覚えていない。以前、介護界の大物三好春樹氏と吉本隆明の対談誌を紹介した。吉本氏は「戦後最大の思想家」と言われていた。代表作に『共同幻想論』がある。晩年は原発賛成の立場を取り、それを批判する人もいる。50年前、社会・自我に目覚めた多くの若者が信奉した詩人であり作家である。最後の出版物は亡くなった年に発行された、コピーライターの走り糸井重里が企画した『吉本隆明が語る親鸞』である。

74歳の時、海で溺れ仮死状態になった。その2年後、この『老いの幸福論』を出版し、その10年後に新書化した。そしてその1年後に亡くなっている。

僕（吉本）が自分で心がけていることがある。禍福、幸不幸を長い周期で考えないで、つらいとか、逆に今日は調子がいいとか、いいことがあったとか、これを食ったらうまかったとか、短い周期で考えるようにしている。あとは死ぬだけだから。現実の身体の死は、明日死ぬというときになったら考えればいい。前から考えてもしょうがない。つまり哲学や宗教の死になってしまい、現実の死とは別次元に移ってしまう。死がもし不幸の極みだとしたら、自分もそうなることは、生まれた時から決まっている。それは変えられない。それを長い周期で考えても仕方ない。人間の幸不幸、人生の目的は何かというのは、若い時に考えること。人は孤独に生まれ、死ぬときも孤独だと言われている。死の恐怖は無くならないが、その時は「死の専門家」宗教、仏教のお坊さんが教えてくれる。悩んだ時の一つの手助けとして、宗教とか思想とかがある。専門家に聞くのが手っ取り早い。死の恐怖は生の恐怖であり、母親のおなかの中にいるときから形成される。フロイトは生まれた時の経験、体内にいたときは羊水の中だから、魚と同じで鰓呼吸していたが、出てきたら空気呼吸する。その環境の変化が心の傷、無意識の傷になると言っている。母親のおなかの中にいた胎児だった時に、大なり小なり大事にされなかった、母親が旦那とけんかして気分があれていたことも原因だと私は思っている。だから死の恐怖は逃れられないので緩和するしかない。刻んで短い周期で考える、大きなことは考えないというのが唯一のアイデアである。自分の死は自分のものでない。自分では危篤、重体になったとき、すでに分からなくなっている。看病してくれた人、近親者が納得するしかない。死の直前になったとき顔をしかめたとしても自分では苦しいも何もわからない。死にかけた僕がそう思います。痛くも苦しくもない。

西欧のインテリカップル、サルトルとボーボアールは夫婦だが別々に住んでいて死ぬ時も一人ずつである。キリスト教文化だから。死ぬとき寂しい。

宗教家親鸞は「生死は不定」と言っている。誰がいつ、どこで、どういう病気でどういう死に方をするかは本人も誰も一切わからない。だからそういうことをいうのは無駄である。この世は煩悩に満ちた世で、ふるさとと同じでなかなか離れがたい。安楽だという浄土でも行こうなんて思えない。煩悩いっぱいこの世が名残惜しい。自然に死ぬ時が来たら死ねば、それでいい。

（追加、初版発刊2001年にはリビングウィル（生前意思）の概念がなかった。）



管理栄養士

みどり通信



レポート酷評・低評価「ジャングリア沖縄」に行ってみた！

ジャングリアは沖縄本島の北部地域の名護の山の中（ゴルフ場跡地）にあります。わかりやすく言うと「美ら海水族館」に近いところです。まずは宿泊したホテルからレンタカーで40分くらいのところのなきじんパーキング駐車場（1日800円ジャングリアまでの送迎付き）を予約しました。ジャングリアの駐車場は1日2000円。戸惑ったのは新設の駐車場なのか？電話番号もなくナビにもありません。グーグルマップで近くの飲食店を検索してようやくたどり着いたという感じでした。ジャングリアは10時がオープンです。送迎車には私たち以外に4組から5組くらいみえたと思います。到着したのは9時半ころ。ジャングリアの駐車場は（10月下旬の水曜日）空いていると送迎の方が言っていました。JALパックの予約を受付で見せて当日チケットに交換してもらい入場の列に並びます。並んでいる間にどんどん人が増えてきます。高校生の修学旅行もたくさんきました。並んで待っている時も忙しいです。前もってとっておいたジャングリアのアプリに当日のチケットのQRコードを読み取らせて「体験同意」という手続きをしなければ危険を伴うアトラクションに参加できません。そして10時の入場開始後は一目散に一番に入りたいアトラクションにまっしぐらです。長い階段をおり緩やかな坂道を息切らしてたどり着いたのは「バギーボルテージ」です。待ち時間もなくすぐ入場できました。入場にあたり必要なのはさきほど登録した体験同意のアプリ画面と運転免許証です。運転免許証が必要なため高校生は来ていません。ヘルメットをかぶり左ハンドルのバギーを操作しデコボコ道のジャングルを駆け抜けるアトラクションです。（アトラクション中通り雨でビショビショ。）次は「ダイナソーサファリ」です。すでに40分待ちの行列ができていましたが高校生に挟まれ30分くらいで入場できました。皆が隊員となり装甲車にのり危険な肉食恐竜から逃げるアクション的なアトラクションです。なんと最後に隊員が恐竜に食べられてしまいました。3番目のアトラクションはいなくなった赤ちゃん恐竜を探しだすアトラクション「ファインディングダイナソーズ」で子供向けかな？30分待ちくらいで入場できました。吊り橋を渡ったりトロッコを操作したりと何かと忙しいアトラクションでした。このあたりでお昼ごろ。レストランは一か所でジャングリアのテーマに沿ったメニューでハンバーグセットがおっと3200円でした。待ち時間もつたいないのとおなかも空いていなかったのももちろん昼抜きで頑張りました。また、園内が広く歩き疲れてきたため乗り降り自由の「タムタムトラム」で入場口近くまで帰ってきました。また、私が乗りたかった気球「ホライゾンバルーン」は今日も少し風があり中止。（ほとんど中止みたいです。）もう入りたいアトラクションもないので「スパ・ジャングリア」に行く事にしました。世界一（ギネス認定）のインフィニティスパがあります。亜熱帯のジャングルに癒されながら天然温泉に浸かり今日の疲れが吹き飛びました。この時点で15時ころ、もうこれ以上滞在はないかなということで帰路につきました。入場料スパ付き9570円の料金（アトラクション3つ参加）はどうでしょうか？

そこまで待つこともなかったですが、整理券を入手することができないアトラクションも多くこんなものかと想定内でした。

いまはオンシーズンではありませんが全国から修学旅行生が大勢来ているかもしれませんね！





職員研修



11月

「感染症対策・実施訓練（手指消毒・防護服着脱）」

手指消毒訓練では業者から手洗いの洗い残しをチェックする物品をお借りしました。蛍光ローションを塗り込んだ後、石鹼で手洗いをして、その後ブラックライトを当てると洗い残しが白く光ります。自分の洗い残しの傾向が分かることで、丁寧に洗うところを今後の手洗いに繋げていきたいと思えます。防護服着脱訓練では実際に防護服や手袋をつける、外す動作を行なうことで、感染を拡げない手順を再確認しました。

「感染BCPと机上シミュレーション訓練」

夜間帯に1人の利用者が38.3度の発熱があったシチュエーションを想定し、どのような手順で感染対応を実施したらよいか仮想の居室空間にて、実際に動きを確認しながら行動を確かめ合う時間をもちました。



12月

「急変時の対応と救急対応」

日頃から観察を心掛けて小さな異変の早めに気づくことが大切です。いつもと違うと感じられるように、すこしでも焦らずに対応できるように皆で話し合い、確認し合う場を設けました。

年末・正月料理



年末年始と豪華な行事食が盛りだくさんで、利用者様に楽しんでいただきました。年越しそばを食べながら「1年早かったね」とお話しされていました。元旦の朝はおせち、昼は赤飯、おやつは紅白まんじゅうと続きました。午後は施設内に設置した神社に初詣に行きました。今年の目標や感謝していることなど、思い思いに手を合わせる姿が見られました。冬の日差しが差し込む中、皆さまの穏やかな表情がとても印象的で、新しい一年の始まりを感じるひとときとなりました。

花菖蒲ユニットリーダー 高村妙子



往還神社



新たな年を迎え、ご利用者皆様に往還神社へ参拝いただき、穏やかなひとときをお過ごしいただきました。

菊・皐月ユニットリーダー 服部 優二郎

寿ぎ

1/6に新春の寿ぎとして、井後神社の宮司様をお迎えし、新年のご祈禱を行っていただきました。厳かな雰囲気の中、新たな1年の始まりを迎えることができました。



お知らせ



ご来所時のお願い

家族様にサインを頂きたい書類が時々発行されます。また、住所が往還の住所になっておられる方には不定期で郵便物が届きますので、ご来所の際には事務所にお声掛け頂きご確認ください。

医療費控除について

確定申告をされる際には、利用料領収書の領収日が令和7年1月1日から令和7年12月31日までのものをご準備下さい。対象金額は領収日の下のところに医療費控除対象額として明記してあります。また、預り金で支払いをした領収書も対象になるものがありますのでご確認ください。

生活相談員 水谷 敦

行事予定



1/1 元旦御膳



1/6 寿ぎ

1/7 七草粥

1/9 新年のお茶会



1/11 鏡開き



2/3 節分



2/14 バレンタイン 手作りチョコレート

3/3 ひな祭り御膳



★初任者研修・実務者研修が無事に終了しました♪

今年度の三幸福祉カレッジさんによる初任者研修・実務者研修が無事に終了しました。感染症対策として体温チェック、消毒など十分注意して実施して頂きました。

お問い合わせ・お申込みは下記まで

三幸福祉カレッジ 0120-294-350 (平日 8:50~19:30)



編集係より



2026年の干支は「丙午」です。

「陽」や「火」を意味する「丙」と「火の気が強まる時期」の象徴である「午」が重なる干支です。火の力が重なることで情熱や勢いが高まり、太陽の様にエネルギーが満ち溢れる年になるそうです。今年は何事にも前向きな1年にしていけるといいですね。

当施設ホームページも随時更新しておりますので、パソコンやスマートフォンからは是非ご覧ください♪



公式HPへはこちらのQRコード、または検索から!

三重 健寿会

検索



インスタグラムもやってます!フォローしてね!
@wakuwakuoukan